

第10回宇宙科学・探査部会 議事要旨

1. 日時：平成26年3月25日（火） 15：00－16：35

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井部会長、家森委員、小野田委員、櫻井委員、田近委員、永原委員、山川委員、山崎委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、深井宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 「宇宙科学・探査ロードマップ」のフォローアップ

事務局から、これまでの議論に関して説明があった。その後、宇宙航空研究開発機構（JAXA）から、資料1について説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○次世代赤外線天文衛星 SPICA については、宇宙科学研究所（ISAS）における検討が進んでおり、これから公募する予定の戦略的中型計画と同列に論じられるものではない。部会として、SPICA について、宇宙科学・探査ロードマップとの関係性、ISAS における議論の経緯や状況を把握すべきである。

(2) 宇宙科学・宇宙探査の推進体制について

資料2に基づき、JAXA から説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○JAXA 内の探査部門におけるワーキンググループ活動の ISAS への統合を評価する。今後、JAXA 内の探査部門は、次回の国際宇宙探査フォーラムに向けた JAXA 内のプログラムオフィスとして国際調整や、ISAS を含む JAXA 内の横断的連携を進めていくことを期待したい。

(3) X線天文衛星（ASTRO-H）との相乗りについて

資料3に基づき、JAXA から説明があった。説明の後、以下のような意見があった。

○相乗り超小型副衛星の公募に有償枠を導入することを積極的に評価したい。

以上